

平成25年度無償資金協力事業 「第三次中等学校改善計画」起工式典

2015年4月1日



記念銘板の除幕後握手を交わすファビアノ教育・科学技術省大臣と西岡駐マラウイ日本国大使

2015年4月1日、西岡周一郎駐マラウイ日本国大使が「第三次中等学校改善計画」の起工式典に出席しました。本事業ではチラズル、ゾンバ、ンチェウ、デッサ、リロングウェ、カスング、ムジンバ7県の11校の中等学校拡張と改善が実施される予定です。

2014年時点の統計によると、マラウイには約1,000の公立中等学校があるとされ、その多くの学校では校舎や学習機材などのインフラが不十分であり、基礎的な中等教育の提供が困難な状況だということです。こうした状況を踏まえ、日本政府は11校の中等学校の拡張と改善のために約18億円の支援を行うことになりました。

主に管理棟、図書室、教室棟、実験室、多目的ホール、教員住宅、地下水給水システム、太陽光発電システムの建設及び机、椅子、実験設備の調達を行うこととなります。

この式典はリロングウェ県ムロザ中等学校で執り行われ、ファビアノ教育・科学技術大臣が出席しました。